

農業と日本国憲法



岡山大学名誉教授、博士(農学)

小松泰信

〈最終回〉

農家と国民主権を考える

「国民主権」は憲法の基本原理

憲法第1条【天皇の地位・国民主権】天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

「国民主権」は、日本国憲法の基本原理のひとつで、この国の政治のあり方、政治の仕組みを決めるのが国民であることの意味しています。

主権が奪われてきた?!

「日本国憲法は、『簡単概略型』というシンプルなたキスト構造を持っているのが一つの特徴です。(中略) 憲法典以外の重要なものをエリート

が構築してきた点で『主権が奪われてきた』とも言えます」と、刺激的な見解を示しているのは山本龍彦氏(慶応大学大学院教授、『毎日新聞』8月1日付)。氏によれば、日本の統治構造を規定する基本的ルールの多くが憲法典の中に書かれていないため、憲法典と憲法秩序にずれが生じる。そのずれ、すなわち「余白」を自ら運転しやすいように埋めてきたのがエリート(自民党や官僚)。

多くの国民は、エリートの手による「余白」を「消極的ではあつても、受容してきた」が、「余



「農業守れ」と「令和の百姓」に賛同する筆者(右から2人目)。3月30日、東京・渋谷区で

白」に補修不能な亀裂が生じているのが現在。

そして、「この80年は、日本が戦争をしなかった

白」を少しでも埋めることができたようです。

平和は作り続けるもの

「平和は放っておくと減ってしまう。次々と作り続けなければならない」と語る池澤夏樹氏(作家、『毎日新聞』8月11日付)は、沖縄県を「あちこちで必死に平和を作っている」ことから「平和の生産量が日本一」と評価します。

『しんぶん赤旗日曜版』(8月3日付)で構想案第1条が「日本は、天皇のしらす(統治するの尊敬表現) 君民一体の国家である」としていることなどから、同党の立場を「天皇主権」と位置付け、「論外」と断じています。

主権者であり続けるために

憲法第99条は、天皇をはじめ、国会議員や公務員に対して「憲法尊重擁護の義務」を課しています。国民は憲法を守らせる側にいるから含まれていません。

しかし、積極的に「憲法」を作り替えようという政党の出現や、第99条に反する言動をばばからない国会議員の存在などから、黙っていても「憲法」を守ることができないことは明らかです。

当連載が主要な対象とした農家はもとより、国民が主権者であり続けるためには、その意思を反映した正論で「余白」を堅固なものにしていく、粘り強い取り組みが求められています。

愛おしき子や孫を主権なき民となさぬためにも

こまつやすのぶ 一般社団法人長野県農協地域開発機構研究部長。著書に『新訂版 非敗の思想と農ある世界』(大学教育出版)『農ある世界と地方の眼力1〜7』(大学教育出版)『隠れ共産党宣言』(新日本出版社)など。

ホットラインの投稿は編集部メールアドレス s-press@shinfujin.gr.jp へ

ホットライン

宮城

高校で原爆写真展 絵画展

【太白支部 清水厚子】被爆80年の今年是他支部の経験に学び、高校での「原爆写真・絵画展」を開きたいと申し入れ、受け入れてくれた高校で、夏休み前の7月14日〜18日まで開きました。持ち込んだ原爆写真と



高校生が見てくれた▲宮城

絵画は担当の先生の責任で展示してくれ、期間中に常任委員と平和部員で見学に行きました。ロビーと2〜3階の踊り場にイーゼルに立て掛けて説明書きと写真、絵画が展示してありました。居合わせた高校生や面談で訪れていた保護者にも説明することができました。貴重な機会を作ってくれた先生に感謝して学校を後にしました。来年も展示してくれることを願っています。

福島

リズムママ小組で夏まつり

【福島支部城山班 斎藤英子】若い世代5組の親子が「リズムママ小組」として、月1回の小組会と年2回は夏祭りというリスマス会を盛大に開いています。



たのしいわらべ歌で▲福島

今年の夏祭りは、元保育園園長、先生方(新婦人会員)の力を借りて、軽やかなリズムや動きを楽しみむいくつかのわらべ歌を、例えば左手にお手玉を乗せて「ぺったんぺったん もちつけ…」と子どもも大人も見よう見まねで楽しみました。新聞紙を大きく広げて上げたり降ろしたりで風を起し、それをちぎってみんなで振り掛け大はしやぎ。スイカ割りにおにぎりも作り、差し入れと盛りだくさんのごちそう、みんなで楽しんで世代間交流もできました。



手書きのプラスターが目をついた▲滋賀

滋賀

抗議の緊急アクション

【県本部】参政党代表の

発言に対する抗議の緊急アクションをしました。人通りは多くなかったけれど、よく目立つため、通る人はよく見て行き、次世代会員から「参加できなくて残念でした」とメールも。急な呼びかけに、ベテラン会員が筆文字で手書きプラスターを作って参加しました。

通信ありがとう

7月
〈県別〉
北海道41、青森1、岩手10、秋田2、山形1、宮城8、福島9、東京73、群馬8、栃木

6、茨城10、埼玉18、千葉17、神奈川27、山梨4、静岡6、愛知42、岐阜10、三重20、新潟9、富山6、石川9、長野48、滋賀3、京都71、奈良11、和歌山9、大阪57、兵庫38、岡山9、広島4、鳥取2、島根3、山口14、徳島4、高知

3、愛媛2、福岡12、佐賀1、長崎8、熊本7、宮崎2、鹿児島4、沖縄3
〈内容〉
県活動7、支部活動25、班活動12、俳句157、短歌83、川柳83、絵手紙56、ギャラリ13、投稿226合計652